



命を守る大切な学習

18日(金)は、交通安全教室を実施しました。新型コロナウイルス感染防止のため、外出する機会が少なくなり、例年に比べて交通事故は減少しているところですが、まるっきりなくなるということはありません。まして、子どもたちは、毎日のように登下校しているわけですから、歩き方や自転車の乗り方をマスターしておかなければなりません。国語や算数のテストのように、「80点ぐらい取ればいいかな。」ではいけません。交通安全に関する学習は、「100点満点」でなければ、交通事故にあつてケガをすることが出てきます。もしかしたら、命にかかわるといふ大事故につながるかもしれません。

低学年は、学校の周りを歩く練習をしました。信号機のところでは、しっかりと信号を見、車のきていないことを確認してから、横断していました。2年生がリーダー役になって、1年生と上手に歩いていました。

中学年と高学年は、校庭に設置したコースで自転車の走行を学びました。自分の自転車で走ってみたのですが、ふらついたり暴走したりという子もいて、何度も練習していました。また、タイヤの空気が少ない自転車もあり、日頃の点検の大切さを感じた子もいたようです。この機会に、もう一度お子様といっしょに自転車を点検して頂ければ幸いです。

なお、ほとんどの子が、ヘルメットを持参していました。せっかく持っているものですから、日頃から着用するよう、声かけの方もよろしくお願いいたします。



【高学年】



【低学年】



【中学年】

工事が開始されます

今週から、足場設営などが始まり、屋上の手すりを撤去する工事が始まります。以前より、教育委員会へは「屋上の手すりが、根本や途中がさび付き、折れる危険性があるため修繕が必要である。」「校舎西側屋上の壁縁が劣化し、剥がれてきている。破片落下による大けがが予想される。」と修繕依頼をしていました。その依頼していた工事となります。

